

# 福祉用具サービス計画

## 質向上へガイドライン

### 利用目標設定、モニタリングなど柱

ふくせんへ  
本年度策定

全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)は、福祉用具サービス計画(個別サービス計画)の質を高めるため、ガイドラインを本年度策定する方針だ。利用目標設定の考え方、モニタリングの視点などを柱に想定している。

福祉用具貸与・販売の個別サービス計画は二十四年度から義務化された。同協会が二十四年度実施した調査研究事業では、「アセスメントで把握すべき情報項目の明確化」「利用目標・選定根拠の意識化」などの効果が分かった。しかし、▽記入作業の負担▽作成内容・説明方法の不安▽他職種

連携ツールとして十分に機能していない等の課題も明らかになり、三十事例を分析したワーキンググループは利用目標設定の考え方、選定理由の記載が不十分などと指摘。

実態を踏まえ、ガイドライン骨子案として▼アセスメント項目・視点▼自立支援に資する利用目標設定▼選定理由・留意事項の記載▼効果測定の考え方・方法(モニタリング)▼

他職種連携の視点・実際の場面▼生活場面別・状態像別の計画書記載例―を提示した。同協会はガイドライン策定に加え、独自開発した計画書・モニタリングシート見直し、福祉用具専門相談員指定講習のあり方検討も予定。計画作成技術の水準向上を目指し、作成・実施を指導するスパーバイザー養成も視野に入れている。

